

あなたの街も「可視化」しよう

～可視化ツールの普及・拡大に向けた、北陸のとりくみ～



国土交通省北陸地方整備局
建政部都市・住宅整備課

i-都市交流会議2020

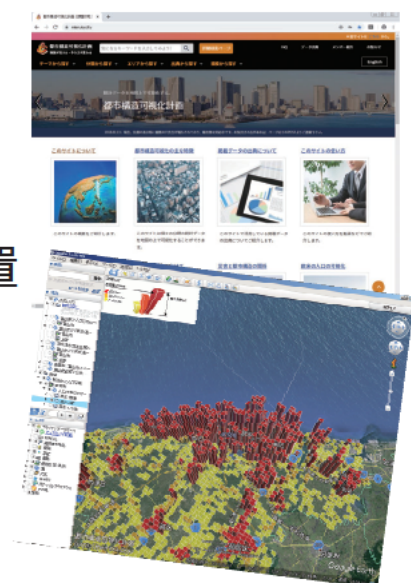
1

1. 都市構造可視化との関わり

国土交通省の出先として、**都市の課題の「見せ方」**を意識した、可視化ツールの**活用**と、自治体等への**普及**活動

北陸地方整備局のとりくみ

- ◆ 会議での活用、自治体への紹介
- ◆ パンフレット、簡易マニュアルの設置
- ◆ イベントを活用した普及活動
- ◆ その他



i-都市交流会議2020

2

2. 会議での活用、自治体への紹介

自治体との会議で、**コミュニケーションツール**として活用。
都市の課題の「見せ方」のひとつとして可視化ツールをPR。



打合せにて

意外と知られていない可視化ツール…
というか、

ぜんぜん認知されていない！
(ちょっと前までの、私も含めて)



自治体向け会議にて



立適コンサルティングにて

3. パンフレット、簡易マニュアルの設置

まずは都市構造可視化を知り、気軽に使っていただくために、
パンフレットと**簡易マニュアル**を作成し、整備局内に設置。

可視化の特徴を**よりシンプルに**、
ツールの使い方を**より簡単に**紹介

2F 廊下

1F ロビー

4. イベントを活用した、普及活動

「けんせつフェア北陸in富山2019」で特設ブースを設置。
可視化ツールを見て、ふれて、知ってもらい、来場者へPR。



企業、自治体、大学・高校生へ、広くご紹介。
そのほとんどが、可視化ツールを**はじめて認知**。（学生に好感触）

5. まとめ

今年度のとりくみを振り返って

とりくみ成果

- ◆都市の課題等の「**見せ方**」の工夫、**コミュニケーションの向上**
- ◆可視化ツールの活用や、広報活動等による「都市構造可視化」の**普及拡大**

※成果の数値化は、今後の課題

課題（反省点）

- ◆行政PCの**セキュリティ**に伴う、**利用性低下**
（研修会参加者以外へのフォロー）
- ◆まちづくり現場での**活用事例**の紹介
- ◆可視化ツールの利用促進に向けた、**自治体ニーズ**の掘り起こし
（見える化したいオープンデータ 等）

6. 今後のとりくみ

やってみたいこと

1. 利用促進

- ◆整備局内各部、事務所への紹介
(道路ネットワークや、河川計画の視点から)
- ◆利用者アンケート調査
(認知度、利用性の課題、オープンデータ、改善要望 等)

2. 普及・拡大

- ◆広報媒体の充実
(PR動画、ポスター、パンフレット)

多くのまちづくり現場でお役立ていただくために、**できることから**

i-都市交流会議2020

7

北陸地方整備局管内

都市の紹介

○新潟県、富山県、石川県の3県、64市町村
(うち都市計画区域あり57市町村)

○「住みよさランキング2019」※の
トップ10に5都市、トップ50に13都市

歴史的景観を生かした
交流拠点都市

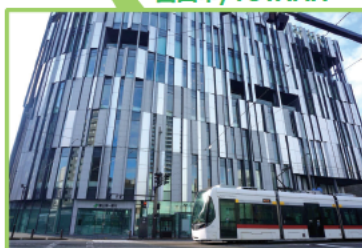
金沢市/KANAZAWA



JR金沢駅(鼓門・もてなしドーム)

LRLの南北接続で
コンパクトシティ実現へ

富山市/TOYAMA



まちなかの複合施設「TOYAMAキラリ」

市街地再開発、駅周辺
整備と、水辺まちづくり

新潟市/NIIGATA



信濃川やすらぎ堤(ミズベリング新潟)



・可視化のPR
・活用のご相談
etc



i-都市交流会議2020

※東洋経済「都市データバック」出典

8